

さやまのふるさと



七曲井(県指定史跡)

市内人間地区の北入曾にある「七曲井」が、平成の改修が行われ、見学しやすくなりました。

旧鎌倉街道沿いにある「七曲井」は、不老川左岸に位置し、奈良時代に掘られたという説もあります。飲料水を得ることが困難だった武蔵野台地では漏斗状(すり鉢型)に掘り下げて井戸を作りまし



た。上口部の直径が26センチ、井桁までの深さが15メートルあります。そして、この井戸の素晴らしさは、水を汲む道跡がしっかりと確認されていることです。道は、稲妻形に下に向かい、底部で井桁を一周しています。これだけ巨大な井戸ですので、さまざまな伝説があります。昔、日本武尊が武蔵の国へやってきたとき、兵は疲れ、飲み水にも困ったそうです。村人も水には苦しんでいたことを知り、さっそく尊は、この地を掘ってみよ」と命じ、大勢の人の手によって井戸が造られたというお話です。また、ある大干ばつに襲われたときのことです。井戸のそばにある観音堂の聖観世音さまQ、お堂のつらの古井戸を掘ってみよ」とのお告げにより、掘り返したところ水が湧き出て、村人は助かったということです。

市民の作品展

俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

- 木漏れ日を手に載せ幼児遊びをり 山下 勝利
- 日の本に住みし幸冬の富士 酒井 美津
- 立春の水ほとはしる朝厨 矢島 静枝
- ちぎり絵の和紙のぬくもり母子草 星野 トリ子
- ゆつくりと一駅あるく小春かな 高橋 峯子
- 灯入れ紅さす雛の雅かな 山下 仲子

編集後記



1月20日、川越狭山工業団地でエコドライブ講習会が行われ、急発進などを抑えた省エネ運転と通常

運転との燃費を比較し、その違いが分かりました。トラック1台の省エネ運転は、年間で約4トンのCO2と10万円ほどの費用を削減できるといふことです。ドライバーの少しの工夫から生まれる効果の大きさに、日々の積み重ねの重要性を改めて強く感じました。自然環境や地球温暖化への関心が高まる中で、皆さんもアイドリングストップなど、できることから始めてみてはいかがでしょうか。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょう？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。締切り2月28日(水・当日消印有効)

1月号の答え

17ページ・写真館の「なわとびをしよう」の写真でした。



👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課) 2月1日現在。(内は前月比)		
住民基本台帳人口	外国人登録人口	
男 79,873人(-25人)	900人(+8人)	
女 77,539人(-11人)	1,167人(+6人)	
合計 157,412人(-36人)	2,067人(+14人)	
世帯 62,677世帯(+26世帯)	1,503世帯(+10世帯)	

1月の火災・救急件数(消防本部)
火災件数 5件(建物3件、その他2件)
救急出動件数 506件(搬送人員482人)